

製品名: Zic2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86856**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:55 kDa; Observed MW:55 kDa

抗原情報

遺伝子名	Zic2
別名	HPE5
遺伝子 ID	7546
SwissProt ID	O95409
免疫原	ヒト Zic2 の合成ペプチド

背景

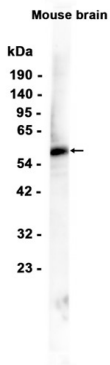
この遺伝子は、C2H2型ジンクフィンガータンパク質のZICファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は転

写抑制因子として機能し、ドーパミン受容体 D1 の組織特異的な発現を制御する可能性があります。コードされているタンパク質の C 末端におけるアラニンリピートの伸長や、この遺伝子の他の変異は、5 型前脳症を引き起こします。前脳症は、ヒトの脳で最も一般的な構造異常です。この遺伝子のポリヒスチジン領域多型は、神経管閉鎖不全のリスク増加と関連している可能性があります。この遺伝子は、13 番染色体上の関連ファミリーメンバーである小脳 5 のジンクフィンガータンパク質をコードする遺伝子と密接に関連しています。[RefSeq 提供、2016 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Zic2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。